

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

- 1, 日 時 令和4年5月18日(水) 13:40~15:30
- 2, 場 所 松江市立美保関中学校 あおぞら学級 校庭
- 3, 対 象 特別支援学級生徒2名
- 4, 指導者 社会科担当 特別支援学級担任2名
島根県埋蔵文化財調査センター職員1名
- 5, テーマ 古代の人々の食生活
- 6, ねらい ・古代の人々の食事作りを体験し、昔の人の食事が今と違うことを理解する。
・火おこしや実物の土器などに触れることで歴史に関心をもたせる。
- 7, 展 開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項(主たる指導者)	準備物
13:40~ 13:50	オリエンテーション (あおぞら教室)	・講師の紹介。 ・今日の学習の流れについて確認する。 (社会担当)	
13:50~ 14:10	古代人の食生活について知る (あおぞら教室)	・古代人が食べていたもの、調理法について、本物の土器等の見学を交え伝える。 ・古代食体験の全般的な説明をして、活動内容を伝える。(埋セン)	説明資料や遺物(埋セン) パソコン (学校)
14:10~ 14:15	移動 (あおぞら教室→校庭)		
14:15~ 14:30	火おこし体験 (校庭・雨天時はベランダの屋根の下で)	・火おこし体験をする。 ・生徒は順番に挑戦し、火がつかなくても時間が来たら終わる。 (教員・埋セン)	火おこしの道具(埋セン) 消火用水 (学校)
14:30~ 15:10	古代食作り体験 ・古代米を炊こう 古代食の試食はしない。 (コロナ対策)	・校庭脇にコンクリブロックで炉を作り土器で古代米を炊飯する(炊飯場所は前日までに準備)。 ・衛生面に気をつけ、着火管理は職員が行う。 ・自分たちが使った道具などを片付ける。	・コンクリブロック、炊飯用土器、薪、炭、赤米は埋セン。
15:10~ 15:30	学習のまとめ (教室)	・体験の感想を発表する。アンケートを記入する。 (教員)	・アンケートは埋セン。
15:50~	後片付け	・自分たちが使った道具などを片付ける。 ・炉は熱いのでしばらく放置しておき冷めてから教員が片付けをする。 (教員・埋セン)	

- ・雨天時は調理室で古代米炊飯を行う。